

# かごしまの農業 2024



令和6年3月  
鹿児島県農政部

# 目次

## I 主要施策の概要

- ★ 食料安全保障の強化・・・1
- 1 生産振興、販売・流通等・・・2
- 2 安全で安心な農畜産物の安定供給・・・5
- 3 担い手確保・育成・・・6
- 4 農地利用、生産基盤等・・・7
- 5 生産性向上・・・8
- 6 農村振興・・・10
- 7 農業災害防止等・・・11
- 8 食育及び地産地消・・・12

## II 本県の地理

- 1 位置・・・13
- 2 地勢・・・13
- 3 気象・・・13

## III 農業の概要

- 1 概要・・・14
  - (1) 全国における本県農業の状況
  - (2) 農業産出額
  - (3) 生産農業所得
  - (4) 県内経済における農業の地位
- 2 農業者・・・17
  - (1) 個人経営体数
  - (2) 基幹的農業従事者
  - (3) 担い手
  - (4) 新規就農者
  - (5) 企業等の農業参入
  - (6) 女性農業者
- 3 農用地・・・21
  - (1) 耕地面積
  - (2) 農業経営体数と1経営体当たり経営耕地面積
  - (3) 耕地利用率
  - (4) 荒廃農地
  - (5) 農地流動化
  - (6) 農業農村整備
- 4 流通・販売・・・24
  - (1) 農畜産物の輸出
  - (2) 6次産業化の市場規模
  - (3) 食品製造業の出荷額
  - (4) かごしまの農林水産物認証制度(K-GAP)
- 5 農業災害・・・26
  - (1) 農業保険(農業共済, 収入保険)
  - (2) 鳥獣被害額

## IV 品目別の生産動向

- 1 生産状況・・・27
- 2 最近の情勢と今後の推進方向
  - (1) 米・・・28
  - (2) さつまいも・・・29
  - (3) 野菜・・・30
  - (4) 果樹・・・31
  - (5) 花き・・・32
  - (6) さとうきび・・・33
  - (7) 茶・・・34
  - (8) 葉たばこ・・・35
  - (9) 肉用牛・・・36
  - (10) 乳用牛・・・37
  - (11) 豚・・・38
  - (12) 採卵鶏・・・39
  - (13) 肉用鶏・・・40

## V 作物カレンダー

- 作物カレンダー・・・41

## VI 農政の推進体制

- 1 農政部予算・・・44
- 2 農政部機構図・・・45

主要施策の概要

本県の地理

農業の概要

品目別の生産動向

作物カレンダー

農政の推進体制

# I 主要施策の概要

## ★食料安全保障の強化

世界的な人口増加や経済発展に伴う食料需要の拡大等に加え、ウクライナ情勢等により、食料や生産資材の多くを海外からの輸入に依存する我が国にとって、食料安全保障上のリスクは高まっております。

本県は全国第2位の農業産出額を誇り、我が国の食料供給基地として重要な役割を担っており、農業者が安心して営農を継続できることが食料安全保障の強化にとって重要です。

### 〈食料安全保障の強化に向けた取組〉

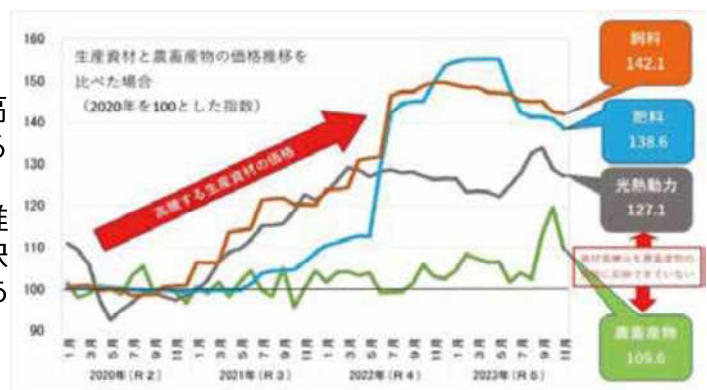
- ・ 県では、国の施策と足並みを揃え、食料の安定生産・供給や肥料など生産資材の生産拡大を図る取組等を実施しています。
- ・ 食料の安定生産・供給については、生産基盤の強化を図るため、冷蔵貯蔵施設や農業施設・機械の整備の支援などを実施しています。
- ・ 生産資材の生産拡大については、畜産が盛んな本県の特徴を生かし、県農業開発総合センターにおいて、堆肥の配合割合が高い肥料の開発や、自給飼料の増産を図るため、飼料作物の種子代への助成や飼料生産を支援する組織が受託面積を拡大する際の経費への助成などを実施しています。

事業名	事業内容
産地パワーアップ事業	地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲のある農業者等が高収益作物・栽培体系への転換等を図るため、施設整備や農業機械及び省エネ機器の導入等を支援
地域資源フル活用飼料増産対策事業	飼料価格の高騰が続く中、飼料自給率の向上を図るため、自給飼料の増産に向けた取組を支援
畑地帯総合農地整備事業	畑作地帯における畑地かんがい施設やほ場の整備、農道整備等の総合的な基盤整備を実施

### 〈生産資材価格の動向〉

ウクライナ情勢の緊迫化や円安等に伴い、燃料・肥料・配合飼料等の生産資材価格が高騰し、農畜産物の生産コストが上昇している状況です。

一方で、農畜産物の価格は横ばい傾向で推移しており、コスト上昇分を販売価格に反映しきれず、農業の生産現場は厳しい状況にあります。



### 〈各種支援策〉

県では、令和4年5月に、各地域振興局・支庁に相談窓口を設置し、農業者からの生産資材の価格高騰に対する相談に対応しています。

生産資材価格高騰への対応では、燃料については、国のセーフティネット事業への加入時に負担する経費の一部支援や、ヒートポンプなどの省エネ機器等の導入支援など、肥料については、肥料コスト上昇分の一部支援など、配合飼料については、国の配合飼料価格安定制度に加入している生産者の負担経費の一部支援などを講じたところです。

## 1 生産振興，販売・流通等

### 〈かごしまブランドの確立等〉

かごしまの強みをしっかり生かせる農畜産物を「かごしまブランド産品」として指定し，これらの産地づくりと販売促進活動を展開しています。

なお，一定の基準を満たした生産者団体等を「かごしまブランド団体」として認定しています。

令和6年1月末現在，170団体が，「かごしまブランド団体」に認定されています。

和牛日本一に輝いた鹿児島黒牛など「かごしまブランド産品」を中心に，首都圏のホテル・レストランや大消費地の量販店等でのPR，知事トップセールスの実施，鹿児島黒牛・かごしま黒豚販売指定店，かごしま茶販売協力店の拡大など，県内外での販売促進活動を展開しています。

また，県内で生産される高品質で希少性のある果物について，適正に評価される販路を開拓するため，生産者等が行う販売促進活動を支援しています。



かごしまブランドの新たなキャッチコピー



レストランフェアでの知事トップセールス



調理師専門学校での  
かごしまの「食」発表会



かごしまの食ウェブサイトによる県内外への情報発信

### 〈農畜産物の生産振興及び銘柄産地の育成〉

農林水産物・食品のうち，品質等の特性が産地と結びついており，名称が特定できる産品を，知的財産として国が保護する「地理的表示保護制度（GI制度）」を推進しています。

「鹿児島の壺造り黒酢」「桜島小みかん」「辺塚だいたい」「鹿児島黒牛」「えらぶゆり」「種子島安納いも」「種子島レザーリーブファン」が登録されています。



## 〈農畜産物の輸出拡大等〉

日本一の生産量を誇り、第12回全国和牛能力共進会で日本一を獲得した鹿児島和牛やさつまいものほか、お茶やきんかんなど多くの農畜産物が、海外へ輸出されています。



農林水産物輸出用統一ロゴマーク

国際水準GAPの取得支援など輸出に意欲的な農業者等への支援で生産体制を強化する取組と、県内産地と連携した集出荷業者等の海外販路開拓への支援による県産農産物等の輸出促進や、デジタルコンテンツを活用した県産品プロモーション、海外小売店等での鹿児島フェア、輸出商談会の開催など販売力を強化する取組を行っています。さらに、令和5年度には輸出推進体制「GFP鹿児島」を設置し、海外の規制や大口ロット等のニーズに対応する輸出産地の形成等に取り組んでいます。

牛肉は、県食肉輸出促進協議会を中心とした販路拡大に取り組んでおり、香港、台湾をはじめとするアジア諸国、EU等への輸出が順調に増加しています。県食肉輸出促進協議会を中心とした、食品展示会や商談会への参加、高級部位（ロース、ヒレ）以外の多様な部位の利用促進を図るためのカット技術の普及、「鹿児島和牛」を取り扱う販売指定店の拡大とともに、「鹿児島和牛」ならではの魅力が詰まったPR動画を作成し、さらなるPRの強化に取り組めます。



香港レストランにおける鹿児島県産農畜産物プロモーションの実施



輸出相手国での食品展示会における「鹿児島和牛」PR



県輸出協統一ロゴマーク  
「鹿児島和牛」(左), 「かごしま黒豚」(右)



「鹿児島和牛」GIマーク



カット技術の普及

## 〈6次産業化の推進〉

農林水産物の付加価値創出を通じて、農林漁業者の所得向上や雇用の確保など農山漁村の活性化を図るため、6次産業化を推進しています。

商品開発等に関する専門家の派遣や県内外で開催される商談会への出展、販売機会の提供など、伴走型の支援を展開しています。

また、大隅加工技術研究センターにおいて、リモートによる相談対応や加工技術の指導などを行っています。



専門家による相談対応



商談会への出展支援



リモートによる加工相談



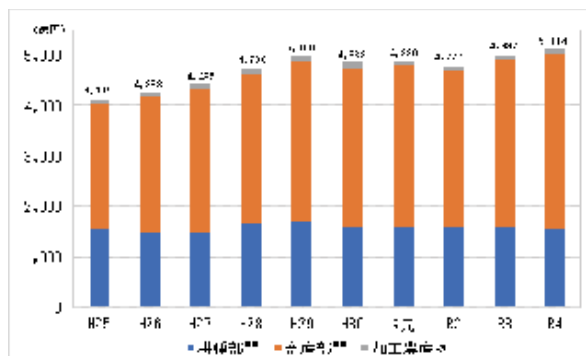
加工技術の指導状況

## 農業産出額・農林水産物輸出額が過去最高を記録

### 〈農業産出額〉

本県の令和4年農業産出額は、対前年117億円増の5,114億円で過去最高を記録し、6年連続で全国第2位を堅持しました。

部門別では、耕種部門が1,560億円(構成比30.5%)、畜産部門が3,473億円(構成比：67.9%)、加工農産物部門が81億円(構成比1.6%)となっています。



### 〈農林水産物輸出額〉

本県の令和4年度の県産農林水産物の輸出額は前年度比5%増の約327億円となりました。前年度に引き続き、農・畜・林・水産物全ての輸出額が増加し、公表開始以降最高額を更新しました。

品目別では、畜産物が約134億円、農産物が約23億円、林産物が約34億円、水産物が約136億円となっています。

また、主な輸出先国・地域では、米国 約138億円、香港 約47億円、中国 約37億円、EU 約28億円、台湾 約27億円、シンガポール 約14億円となっています。



## 「食べて応援」うんまか鹿児島県の牛肉

本県の肉用牛は、産出額日本一であり、第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会において和牛日本一の連覇を果たしました。

一方、配合飼料価格の高止まり、牛肉在庫量の増大の中、子牛価格は下落しており、肉用牛農家の経営は厳しい状況です。

県では、「『食べて応援』うんまか鹿児島県の牛肉」と称して、和牛日本一の連覇から1周年となる令和5年10月20日に、県民の皆様に対し、県産和牛肉の消費拡大の御協力をお願いし、県ホームページや、県公式SNSを通じて、各市町村で行われる産業祭での県産和牛肉の試食・販売の開催情報等を発信しました。県としては、引き続き、食肉事業者をはじめ、関係機関・団体等と連携し、県産和牛肉の消費拡大に向けて取り組みます。

### 〈実施した主な取組〉

- (1) 県庁食堂での県産和牛メニュー提供
- (2) 県職員向けにテイクアウト商品の販売
- (3) 県職員生協による精肉商品の販売
- (4) 移動販売車による県産和牛の販売
- (5) 県政広報番組や県政かわら版による牛肉の消費拡大の呼びかけ



県ホームページに掲載しているポップ

## 2 安全で安心な農畜産物の安定供給

### 〈食の安全・安心対策〉

安全・安心な県産農林水産物を生産し、消費者からの信頼を確保するため、「かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）」の認証取得の促進や普及・拡大等に取り組むとともに、国際水準GAPの普及を図るため、GAP指導員の育成やGAP認証の取得支援などに取り組んでいます。

また、関係機関と連携しながら、食品表示制度の普及・啓発や食品表示実態調査を通じた小売業者等への指導などを実施し、県民の信頼を確保する食品表示の適正化に取り組んでいます。



K-GAP PRフェア



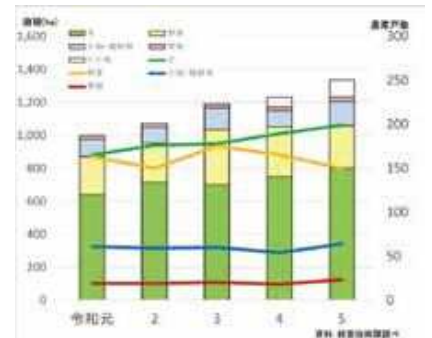
食品表示実態調査の状況

### 〈環境との調和に配慮した産地づくり等〉

令和5年3月に、県内全市町村と共同して策定した「環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画」において、①化学農薬の使用量低減、②化学肥料の使用量低減、③有機農業の取組面積拡大、④有機JAS認証取得割合の拡大、⑤バイオマス利用率の拡大、⑥産業部門における温室効果ガスの排出量削減を目標に設定し、環境と調和した産地づくりを推進するとともに、消費者への理解促進に取り組んでいます。



みどりの食料システム戦略（イメージ）



有機農業の取組面積及び農家戸数の推移

地域ぐるみで有機農業を推進しているオーガニックビレッジの活動や、環境にやさしい栽培技術実証の産地での取組を支援するとともに、環境負荷の低減に取り組む生産者の計画を認定する制度（通称：みどり認定）の推進を図っています。

## みどりの食料システムの実現に向けた産地での取組

いぶすき農協オクラ部会では、露地オクラ栽培において、ほ場の周辺や畝間にソルゴーを植栽して土着天敵を集め、害虫防除に活用する技術の確立と普及に取り組み、化学農薬の使用回数の削減と作業の省力化につなげています。



この取組が評価され、「令和4年度九州地域未来につながる持続可能な農業推進コンクール」で九州農政局長賞を受賞しました。

また、令和5年8月には、県内で初めてJAいぶすきエコオクラグループが「みどり認定」を取得し、消費者に向けたPR活動にも力を入れています。

このように、みどりの食料システムの実現に向けた各産地での環境負荷低減の取組が広がりつつあります。

### 3 担い手確保・育成

#### 〈経営改善意欲のある農業者の確保・育成〉

効率的かつ安定的な経営の実現を目指す認定農業者などの担い手を確保・育成するため、農業経営の法人化、企業的農業法人の育成など、担い手の経営発展につながる各種研修会の開催や専門家派遣による課題解決に向けた取組を推進しています。

また、農業の新たな担い手として、企業等の農業参入を促進するとともに、農福連携の推進や外国人材の安定的な受入に向けた環境整備など、多様な人材の確保に向けた取組を推進しています。



経営発展に向けた専門家派遣

#### 〈新たに就農しようとする者の確保・育成〉

新規就農者を確保・育成するため、県内外での就農相談の実施、農業大学校での教育・研修、就農に向けた資金の交付、就農後の機械・施設等導入の支援など、就農準備から経営安定まで総合的に支援しています。



就農・就業相談会の開催

#### 〈女性農業者が活躍できる環境整備〉

基幹的農業従事者の約4割を占める女性の活躍を促進するため、女性農業経営士の認定や海外農家体験研修・スキルアップ講座等の実施によるリーダー育成、女性農業者グループ等の活動支援など、女性が地域農業の担い手として、活躍できる環境づくりを推進しています。



女性農業経営士養成研修

#### 〈集落営農の育成・活動促進等〉

集落営農の活動を促進するため、小規模な農業者や高齢農業者も含めた地域の話し合い活動に基づき、ビジョンづくりや人材の確保、収益力向上に向けた新規品目の導入、効率的な生産体制の確立に向けた取組などを推進しています。



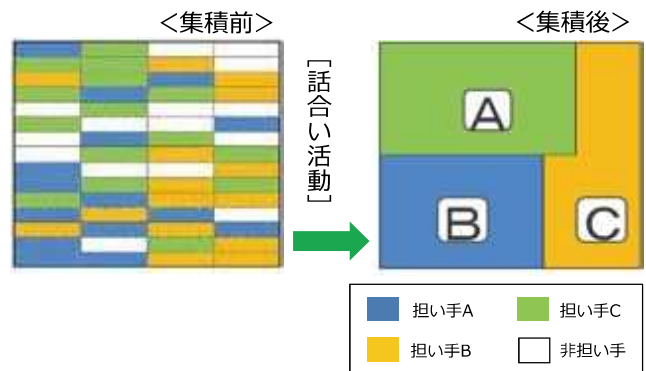
集落営農推進研修会の開催（Web）



## 4 農地利用，基盤整備等

### 〈農地利用〉

農地の効率的な利用を推進し，農業生産力の維持向上を図るため，農地中間管理機構や市町村，農業委員会等と一体となって，農地利用の意向把握や，地域計画の策定の話合い活動，基盤整備の取組などと連携した農地中間管理事業の推進による担い手への農地の集積・集約化に取り組んでいます。



### 〈基盤整備等〉

農業の競争力強化や農地の集積・集約化を図るため，農地の大区画化・水田の汎用化，ほ場や畑地かんがい施設の整備などを推進しています。

これまでに造成された土地改良施設の機能を今後も持続的に発揮させるため，施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るストックマネジメントに取り組んでいます。



ほ場整備による農地集積



畑地かんがい施設による散水状況



老朽化したポンプの補修

### 地域計画について

令和4年5月に農業経営基盤強化促進法等の一部が改正され，市町村においては，地域での話し合いにより，目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を令和6年度末までに策定し，それを実現すべく，農地バンクを活用した農地の集約化に向けて取り組むこととなりました。

県では，研修会の開催やモデル地域の設置など，「地域計画」の策定・実行に向けた取組を関係機関・団体と一体となって推進しています。

〈現況地図〉  
(イメージ)



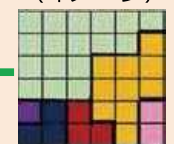
地域での話し合い



### 地域計画

- ① 地域における農業の将来の在り方
- ② 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標
- ③ 農業者及び区域内の関係者が②の目標を達成するためとるべき必要な措置
- ④ 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）
- ⑤ 農業支援サービス事業者一覧

〈⑥目標地図〉  
(イメージ)



## 5 生産性向上

### 〈スマート農業の推進〉

「スマート農業」とは、ロボット技術やAI, ICT等を活用して、超省力・高品質生産を可能とする新たな農業のことです。

スマート農業の推進は、本県農業が抱える労働力不足や、農業後継者への技術継承等の課題を解決するためにも有効な施策であることから、「鹿児島県スマート農業推進方針」に基づき、農業者の理解促進や現地実証活動等を展開しています。

また、令和4年4月に県農業開発総合センター内に「スマート農業拠点施設」を整備し、ロボット田植機等の実演会を開催するなど、スマート農業の推進母体として稼働しています。



スマート農業拠点施設でのロボット田植機等  
実演会

### 〈農業技術の開発等〉

農業開発総合センターでは、新品種・種畜及び新技術の開発・普及に取り組んでいます。

最近の成果では、年内に出荷できる果皮の紅色が濃いかんきつ「KC-5」や高温登熟性に優れる普通期栽培用水稻「あきの舞」等の新品種を育成しました。

新技術として、サツマイモ基腐病に抵抗性の強い品種「こないしん」「みちしずく」「べにまさり」の選定や効果的な薬剤防除体系を開発するなど、生産の安定化に寄与しています。

また、堆肥の活用による化学肥料の低減や天敵類活用技術による化学農薬の低減に関する新技術等についても取り組んでいます。

肉用牛改良研究所では、ゲノミック評価等の先端技術を駆使して肉用牛改良を促進し、検定・選抜を行いながら、産肉能力や生産性に優れた種畜を生産し、県内の肉用牛農家に凍結精液を供給しています。

これまで、第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会で優等賞1席（農林水産大臣賞）を獲得した「白浜喜」号や、産肉能力が高い「益華明」号などが造成されています。

### 〈動植物の防疫体制〉

本県は、農作物に甚大な被害を与えるミカンコミバエやアリモドキゾウムシなどの病害虫が侵入・発生しやすい地理的条件にあることから、国や関係機関・団体等と連携しながら、定期的なトラップ調査等による侵入防止対策を講じるとともに、万一、侵入を確認した場合には、まん延防止に向けた防除対策を実施しています。



「KC-5」



「あきの舞」



「益華明（ますはなあき）」号



ミカンコミバエ

国内において豚熱、高病原性鳥インフルエンザ、近隣諸国においてアフリカ豚熱等の家畜伝染病が續発し、本県においても令和2年度から令和5年度にかけ、4シーズン連続で高病原性鳥インフルエンザが発生しております。県では、飼養衛生管理基準の遵守の徹底を図るとともに、万一の発生に備え、防疫資材の備蓄や防疫演習を実施するなど、疾病の発生やまん延防止対策の取組を推進しています。



防疫演習

## 豚熱ワクチン接種の取組

豚熱については、令和5年8月末に佐賀県の豚飼養農場で発生したことを受けて、9月5日には、本県を含む九州7県が、国からワクチン接種推奨地域に設定され、飼養衛生管理者向けの研修会の開催等、ワクチン接種体制の整備を進め、9月27日から南九州3県でワクチン接種を開始し、12月25日に初回接種を完了しました。

県としては、豚飼養農場へのウイルスの侵入を防止するためには、ワクチンの接種と併せて、消毒の徹底など飼養衛生管理基準の遵守が重要であると考えており、引き続き指導を徹底します。



豚熱ワクチンの接種

## サツマイモ基腐病対策の取組

県では、県サツマイモ基腐病対策プロジェクトチーム（PT）を設置（R4.1）し、「鹿児島県サツマイモ基腐病対策アクションプログラム」に基づき、関係機関・団体一体となって、ほ場に基腐病菌を「持ち込まない」「増やさない」「残さない」対策の総合的な取組を推進しています。

県PTでは、健全苗確保に向けた研修会や、生産者の取組事例、試験研究成果等を紹介する県域研修会の開催等を通じ、対策を推進しています。

また、時期に応じた対策技術の情報発信に取り組んでいます。

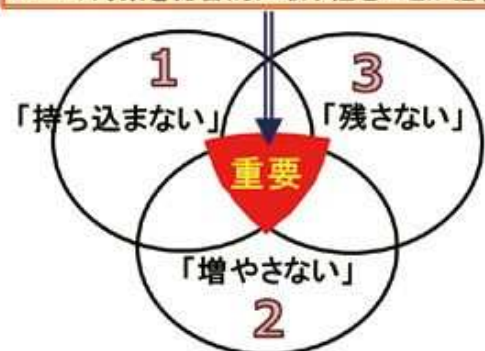
地域PTでは、抵抗性品種や新農薬の展示実証ほを活用した研修会の開催や個別巡回指導等による防除技術の周知に取り組んでいます。

農業開発総合センターでは、国との共同研究等により、蒸熱消毒技術の実証や、抵抗性品種の開発、農薬登録促進のための薬剤効果試験などに取り組んでいます。



基腐病対策研修会（ほ場滞水防止対策の実演）

3つの対策を総合的に取り組むことが必要



## 6 農村振興

### 〈共生・協働の農村づくり運動〉

「人と自然と地域が支え合うみんなで創る農村社会」を目指して、地域住民の自主的な話し合い活動を基本に、農村集落と大学やNPOなど地域外の多様な主体との連携による「共生・協働の農村づくり運動」を進めています。

令和4年度 鹿児島県共生・協働の農村づくり運動表彰  
知事賞受賞団体

部門	受賞者名
農村集落部門	高隈地区コミュニティ協議会(鹿屋市)
功労者部門	今村 満義 氏(さつま町)

### 令和5年度豊かなむらづくり全国表彰事業「農林水産大臣賞」受賞 高隈地区コミュニティ協議会(鹿屋市)

高隈地区コミュニティ協議会では、世代を問わず、多くの人を巻き込みながら、地域の課題を共助という形で解決するため、様々な活動に取り組んでいます。

休耕田を活用し、「たかくまコミュニティ米(高隈米)」を生産することで、自主財源を確保しています。

また、有志により、有償ボランティア組織「おたすけ隊『あったかくマン』」を創設し、大工仕事や庭仕事、買い物支援等、住民の困りごとを支援するなど、持続的なむらづくり活動を展開しています。



休耕田を活用した高隈米の生産(稲刈り)

### 〈農業農村が有する多面的機能の維持・発揮〉

国土の保全や良好な景観の形成など、農業農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域共同で行う多面的機能を支える活動や農用地・水路・農道等の地域資源の質的向上を図る活動を支援しています。



水路の泥上げ

### 〈グリーン・ツーリズム、農泊の推進〉

本県の豊かな農産物や食、伝統文化、自然などを生かして、農産物直売所等を活用した都市住民との交流や、農作業等を体験する修学旅行の受入れ、農山漁村に宿泊し、地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ「農泊」など、グリーン・ツーリズムの取組を推進しています。



農作業体験をする修学旅行生

## 7 農業災害防止等

### 〈農業災害対策の推進〉

本県では、台風や大雨等により、毎年、農作物やハウス等の農業施設などに被害が発生しています。

災害の発生が懸念される場合は、農業者に事前に対策を周知するなど、被害の発生や拡大を防止しています。

災害が発生した際は、相談窓口を設置するなどして、技術指導や復旧資金に関する相談等の対応を行っています。



大雨により損壊したハウス

また、シラスなどの特殊土壌に覆われているため、台風や豪雨による災害を受けやすい条件下にあります。

このため、農地の侵食や崩壊を未然に防止するための排水路整備など、農村地域の防災・減災対策を行っています。



〈整備前〉



〈整備後〉

### 〈活動火山防災営農対策の推進〉

桜島などの活動火山を有する本県では、降灰による農作物被害を防止・軽減し、地域農業の発展を図るため、被覆施設や洗浄施設の整備等を行う農業者団体等を支援しています。



茶の除灰機



被覆施設

### 〈鳥獣被害防止対策の推進〉

市町村等と連携しながら、「寄せ付けない」、「侵入を防止する」、「個体数を減らす」の3つの取組を柱に、集落ぐるみの被害防止研修会の開催や侵入防止柵の整備、捕獲活動に必要な経費の支援などソフト、ハード両面にわたる総合的かつ一体的な対策を強化しています。

また、捕獲した鳥獣のジビエ工利活用拡大に向けた取組を推進しています。



侵入防止柵の整備



集落ぐるみの被害防止研修会

## 8 食育及び地産地消

### 〈食育〉

本県ならではの豊かな食文化や農林水産業を生かして、かごしま版食事バランスガイドの普及啓発や、郷土料理等の継承推進、農業体験等の取組への支援など、ライフステージに合わせた、県民の健康で豊かな食生活の実現を図っています。

また、令和4年度に県、県教育委員会及びJAグループ鹿児島との3者で締結した「食育に係る連携協定」を契機に、子どもたちに対する体験活動を通じた食育の取組をさらに充実・強化するため、食育支援体制の拡充や食育に携わる指導者等を対象に「食と農の指導者研修」を実施しています。



市町村等の取組支援  
(小学校での農業体験)



食育支援体制の紹介チラシ



食と農の指導者研修

(左：ワークショップ 右：農業体験を通じた生産者との交流)

### 〈地産地消〉

本県農林水産物を積極的に活用している飲食店・量販店等を登録する「かごしま地産地消推進店」や、地産地消の情報発信役である「地産地消推進サポーター」への情報発信等を通じて、県産農林水産物への理解促進を図っています。



←Instagramで  
「かごしまの食」をPR

かごしま国体で「かごしま→  
地産地消推進店」をPR

## 若い世代への県産食材の理解促進～かごしまおいしいものフェア～



高校生等を対象に、県産食材活用メニューコンテスト「かごしまおいしいもの選手権」を実施し、応募総数301作品から書類審査を経て入賞作品17作品を選定。

高校生と飲食店等とのマッチング交流会を実施するなど入賞作品の商品化を進め、県内の飲食店等が商品化・販売PRする「かごしまおいしいものフェア」の開催やSNS等での発信など、若い世代をはじめとする幅広い県民への理解促進に取り組んでいます。



入賞作品の商品化に向けた  
高校生と飲食店とのマッチング  
交流会



コンテスト入賞作品を商品化・販売PRする  
「かごしまおいしいものフェア」  
(左：商品化例、右：フェアチラシ)



フェア初日に開催した  
キックオフイベント